

地域活性化伝道師プロフィール		分野		農・林・水産業	
		地域産業・イノベーション・農商工連携		観光・交流	○
		地域医療、福祉・介護、教育	○	環境	
		地域コミュニティ・集落再生	◎	まちづくり	○
		地域交通・情報通信	◎		
ふりがな		よしざわ たけひこ			
氏名		吉澤 武彦			
所属	名称	一般社団法人 日本カーシェアリング協会			
	役職	代表理事			
連絡	住所	(公開)	〒 986-0813		(職場)
		(公開)	宮城県石巻市駅前北通り1丁目5-23		
	連絡先	(公開)	E-Mail info[アットマーク]japan-csa.org		
		(公開)	TEL 0225-22-1453	FAX 0225-24-8601	
連絡方法	弊社HP内のお問い合わせからメールにてご連絡ください https://japan-csa.org/contact/				
略歴	<p>兵庫県姫路市出身。立命館大学政策学科を卒業後、大阪の企業に勤めながら週末などに社会活動を始める。退社後に活動を本格化させ、様々なプロジェクトに取り組む。東日本大震災後、一般社団法人日本カーシェアリング協会を設立し石巻で取り組みを続ける。2013年3月、一般社団法人OPEN JAPANの代表理事に就任。</p> <p>2011年4月 日本カーシェアリング協会設立 2013年3月 一般社団法人OPEN JAPAN 代表理事 就任 2015年4月 国際交通安全学会賞 業績部門 受賞 2017年6月 地域ITS活動優秀事例 受賞 2018年2月 復興庁「新しい東北」復興創生顕彰 受賞 2019年2月 第9回地域再生大賞 優秀賞 受賞</p>				
著作・論文等	<p>国際交通安全学会誌 vol.42 『被災地、石巻で生まれたコミュニティ・カーシェアリング』(平成29年6月) https://www.iatss.or.jp/common/pdf/publication/iatss-review/42-1-05.pdf</p>				
取組概要	<p>寄付で集めた車を使った以下の3つの支援事業を行っています。</p> <p>①ご近所のカーシェアで支え合う地域を作るサポート(コミュニティ・カーシェアリング事業) 被災地の高齢化・交通弱者・コミュニティ作りといった課題に向き合い作られた取組。従来のカーシェアと異なり①地域づくりを目的として、②住民がルールと役割を決めて運営を担い、③車の維持費など経費実費を平等に分担する特徴を持ちます。石巻市では地域づくりの手法として行われており、石巻で10地域・石巻以外で5地域の導入実績があります。(2020年3月時点)</p> <p>②災害時に車が不足して困らないための仕組み作り(モビリティ・レジリエンス事業) 発災時に寄付車を現地に集め被災者や支援活動を行う組織に車を無料で貸し出す支援活動を行っています。いざという時に有機的な連携ができるような体制作りをサポートします。</p> <p>③人と地域を元気にする仕組み作り(ソーシャル・カーサポート事業) 地域の自立支援のプロと連携した生活困窮者への低価格リースや、商業レンタカーが出店できない人口規模の地域を地域連携して訪れる人が車を借りれる仕組み作り等をサポートします。</p>				
メッセージ	<p>住民共助の移動の仕組みを地域に作りたい時は、『コミュニティ・カーシェアリング』(CCS)は有効だと思います。CCSは、ルールや運営の雛形があり、私どもで車の貸し出しも行えるため、まず実践(試運行)から取り組みを始めることができます。地域にあったルールを実際に活動しながら調整したり考えることで、より具体的な解決策を地域にもたすことができます。導入した地域には、免許を返納したり、車を手放せる安心感も現場に生まれています。但し、住民ボランティアで無理なく楽しく運営することを基本としているため、あくまで交通機関の補足的な役割でありそれ以上ではありません。地域の皆さんのやる気が一番大事な取り組みです。災害時における車不足への対応、生活困窮者への対応なども上記②③の取組で協力できると思いますのでご相談ください。</p>				
関連ホームページ	https://www.japan-csa.org/		活動エリア	全国	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。